

E 課外活動

1 ワークショップ

1. 1 Seminar for Intercultural Communication

—他国の実情を知り、英語で他者と共有する—（英語分野）

(1) 研究開発の課題（研究概要）

ネイティブとの交流を通して英語コミュニケーション力の育成や異文化理解といった国際性を育成する。

(2) 研究開発の経緯

平成 25 年度から英国のラドリーカレッジとの国際交流を始めた。英国に派遣できる生徒は 8 名と限られているため、より多くの生徒の国際性を育成するために本事業を始めた。



実習の様子

(3) 研究開発の内容

ア 仮説（ねらい、目標）

本事業は英語コミュニケーション力や外国文化への興味・関心などの「国際性」を促すことが出来る。

イ 研究の内容・方法

該当教科 SSH 英語

対象生徒 普通科 1、2 年生徒 20 名

日時場所 1 月 26 日（土） 本校

実施内容

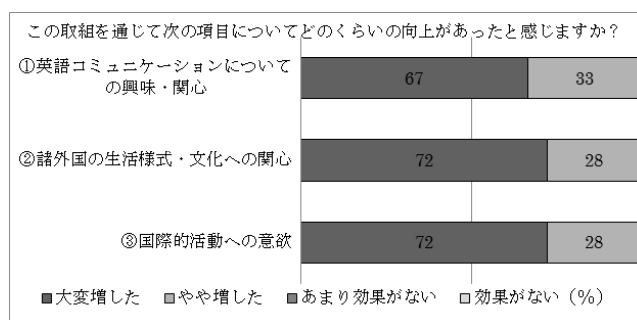
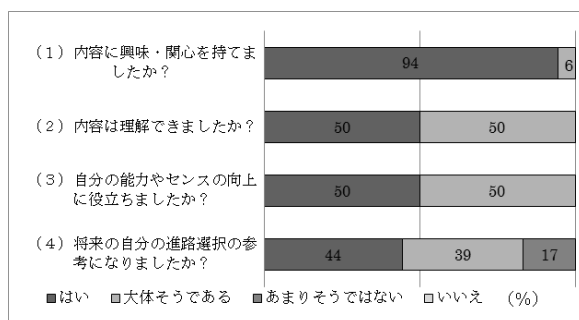
講義 「Seminar for Intercultural Communication

—他国の実情を知り、英語で他者と共有する—」

講師 コスモスペース株式会社 Kazushi Muir 他 4 名

内容 クラスごとに講師の指導を受けながらプレゼンテーション作成やディスカッションをし、全体の中で、発表し質疑応答をする。

(4) 検証（成果と反省）



- ・海外出身の先生と直接話をする事ができ、国外のことをもっと知りたくなった。
- ・思ったより自分の英語力で理解できたし、伝わったので自信がいった。

アンケート結果から、参加者のほぼ全員がセミナーの内容に満足していることが窺えた。英語や異文化理解に対する興味・関心が広がった様子で、「今後の学習に生かしたい」という声や「またこういう機会があれば参加したい」という回答も多く見られた。本事業で高められた意識や意欲を発揮できる機会を今後検討したい。